

企業人と学生のハイブリッド

(2～4年次対象・秋学期開講・2単位)

- 企業と大学が協働し、若手社員と学生のハイブリッド(Hybrid:混成)による人材育成プログラム
- 若手社員が自ら携わっている職務上の課題を設定し、若手社員1名+学生3名のプロジェクトチームで、課題への対応策を検討、提示する

授業内容

内容①：企業の課題を共有

- ・講義:プロジェクトマネジメント、リーダーシップを学ぶ
- ・若手社員が業界、自社について説明し、課題を学生と共有する

内容②：課題の対応策を検討

- ・講義:問題解決の手法(分析手法等)、PDCAサイクルを学ぶ
- ・課題の論理的分析と解決策の検討

内容③：対応策・実行策の確定

- ・講義:問題解決の手法(ソリューションプラン)と実行策を学ぶ
- ・対応策とそれに対する実行策の検討

内容④：課題へ対応策の発表

- ・課題、対応策、実行策をプレゼンシートにまとめる
- ・中間発表し、メンターよりフィードバックを受ける

【期待する効果】

◆若手社員に対して

- ・学生とまとめ、解決策を検討することで、リーダーとしてのスキルが身に付く
- ・プロジェクトマネジメントを経験することで、後輩を教える機会が少ない若手育成に役立つ
- ・自社の課題を検討することにより、当事者意識が芽生え、自ら考え、行動する癖が付くようになる

◆学生に対して

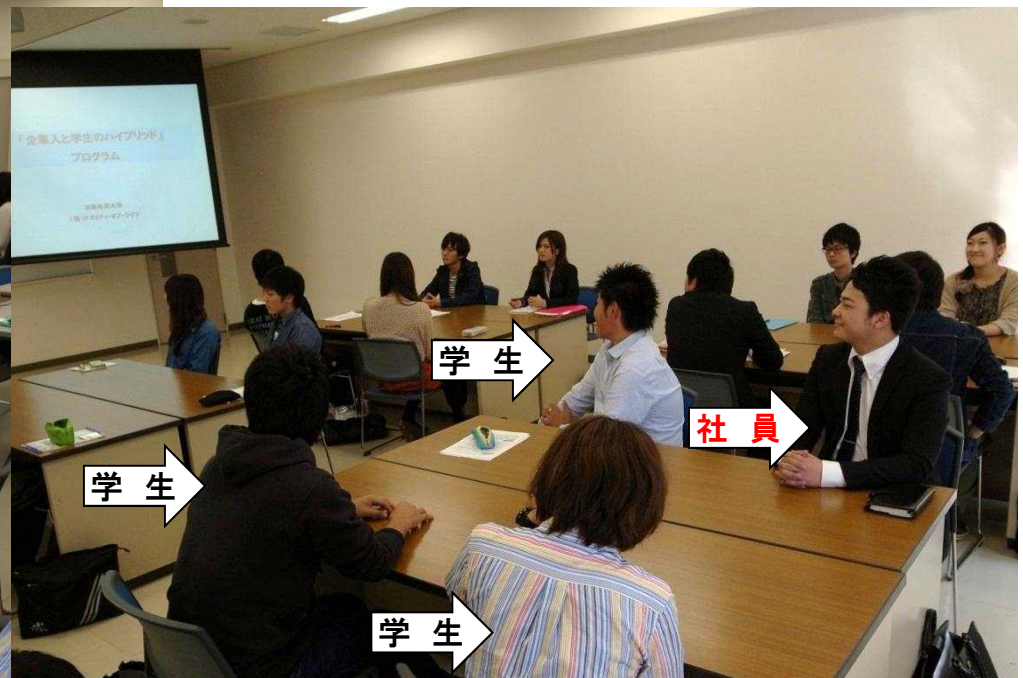
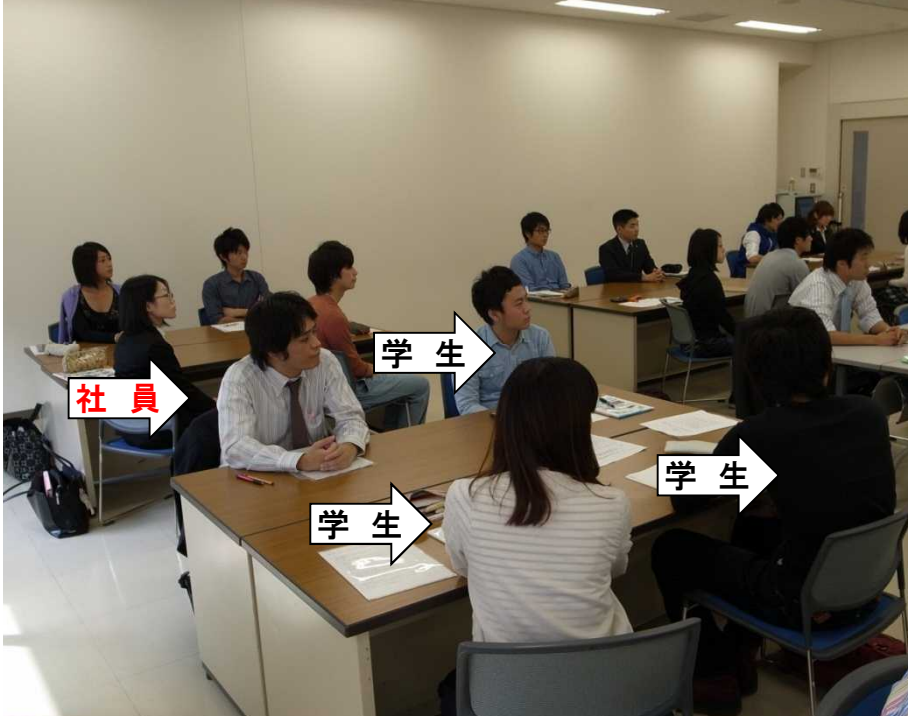
- ・リアルな仕事の流れを経験することにより、組織の仕組み、チームで働くことの意義を体得する
- ・企業の抱える課題、仕事の成果とは何かを理解でき、自分がやるべきことを考えられるようになる
- ・中堅・中小企業について理解し、プラス・マイナス両面からその特徴を知ることができる



講義: 若手社員に求められるスキル

- ・プロジェクトマネジメント
- ・リーダーシップ
- ・問題解決の手法
- ・論理的思考法
- ・戦略立案
- ・プレゼンテーションの技法

中堅・中小企業の若手社員1名
+
学生(主に3年生)3名





グループワーク

チームの課題について若手社員をリーダー、学生がメンバーとして解決策を検討する。

【課題例】

- 新人研修のプログラム作成
- 理念の徹底と共有
- 研修への参加率100%を目指す
- フィルム商品の販売先の拡大
- 社員育成制度の企画

グループ分けに学生の希望は聞かない
与えられた仕事で成果をいかに出すか
新入社員のつもりで取り組み

中間プレゼン: 各社にてメンター(上司、人事担当責任者等)に対して



プレゼン終了後、メンターから厳しい指摘と親身なアドバイス

若手社員の感想(中間アンケートより)

- 他人に自分の考えを伝えることの難しさを感じました。伝えているつもりになっているだけで伝わらないのは、伝える方にも問題があると思います。
- 医療機関という職場環境から今日に至るまで、業務上でPDCAサイクル等の実践を行っておらず、今後業務に取り組むにあたり非常に勉強になった。また、新人を指導していく上で役立つものだと考える。
- チームのリーダーとなり、指示を出していくという、普段できない経験と共に、講義部分でも普段接することの少ない内容に触れさせていただき、非常に良い経験となっております。
- 人に仕事を任せるといふことや複数人の意見の妥協点を見つけることが苦手だと気付けた。また、メンバーに意欲を持たせ続けるにはどのようにすれば良いか、考えるべきだと気付けたので大変満足しています。
- 学生達の意識は想像以上に高く、非常に良い刺激を受けております。しかしながら、私の現時点での力量では、学生が本来持つポテンシャルやモチベーションはまだまだ引き出せていないと感じますので、本プロジェクトを一緒になって成功させる事で、その辺りを存分に引き出していければと思います。
- 人事異動や新入社員の入社などにより、人柄や性格、能力が未知数の方と一緒にプロジェクトを進める事は常にあります。また、管理職やリーダーになるためには、様々な思想や価値観を許容しつつも、方向性をしっかりと示し導いていく強さやスキルが必要ですので、本プログラムを遂行する事で、その強さやスキルを習得出来ると確信しております。

最終報告会



上司からの参加社員へのフィードバック(プロセス管理 & 能力開発シートより)

- 他社の発表と比較して何が欠けていたのか再度検証すべきです。この検証は今後同じようなプロジェクトを行う際に、貴重な資料となります。今後プロジェクトリーダーとして会社の中心を担っていくと思いますが、今回の経験を活かして、当社の発展に寄与してもらいたいと思います。
- 結果として最優秀賞の評価をもらったことはとても嬉しく思います。中間プレゼン後の努力が成果につながったと思います。何事も前向きな行動がいい結果に結びついたと思います。ぜひこれを、机上のものに終わらせないで、実行していただきたい。結果はどうなるか分かりませんが、最後まで実証してこそ、次につながると思います。問題はいろいろと出てくると思いますが、次につなげることが大切です。どんなことでもいいから、仕事につなげることが重要です。
- リーダーシップには色々な形があり、どれが正しいといったものではない。そういった意味で、目標が達成できたということを考えれば、「学生たちをまとめる」というリーダーシップを発揮できていたと思うので、今回の授業自体の目標はひとまずクリアしたといえる。あとは、今回学んだことを実際の業務に活かしていけるかどうかをみていきたい。理論と実践は大きく違うことは当然のことであるが、しかしその差を埋めるために、どれだけ自分の中で理論を消化するか、そして現実引き当てるか、といったことを考えて実行していってもらえればと思う。
- 今回のプログラムによりプロジェクトを動かすことの難しさ、楽しさに少し触れることができたのではないかと思います。店舗の仕事であっても、目的・取り組み・成果・検証の細かなサイクルはわかりませんので、今後の仕事に活かしてくれることを期待します。
- 初めての試みで、私自身もどこまで関与すべきかもよく分からず、お互いに手さぐりの状態だったと思います。そんな中でも課題に取り組み、普段聞くことが出来ない学生の声も聞くことができ、社員対する課題、社会に対する課題も今回の提案をふまえて徐々にクリアしていければと思います。